

実務家教員授業科目一覧（2021年度入学者より適用（新課程））

キャンパス	学部	区分	科目名	単位数	担当者名	授業概要
目白	家政学部 文学部 理学部 人間社会学部 国際文化学部	J W U キ ャ リ ア 科 目	ライフプランとキャリアデザイン	2	高橋美紀	ライフプランやキャリアデザインを設計するためには、社会環境や企業に関する理解が欠かせない。社会や企業において女性がどのような状況に置かれているか、大学時代からその現状や背景を理解することが重要である。授業では、女性のライフプランやキャリアデザインに関連させながら、経済社会や企業組織の仕組み、現状や課題について、ゲストスピーカーとして外部から招く専門家及び卒業生の講話や、授業担当者自身の経験（一般企業勤務や、中小企業診断士・社会保険労務士としての企業支援経験）も交えながら解説する。「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目
			女性と職業	2	鈴木陽子	本授業は、現代女性の職業の実態をさまざまな具体例を通して学び、働く意欲と勇気を得ることを目標とする。各界で多彩に活躍している各学科の先輩をゲストスピーカーとして招聘し、さまざまな分野での仕事のあり方をn実際に見聞する機会を通じて、職業選択やキャリアについて自ら考えるための指針を提供する。授業の最終回に、授業全体の振り返りと講評を行う。なお、授業担当者は、民間シンクタンクにて、主に官公庁や自治体等の受託調査に携わっている。少子高齢化施策（子育て支援、高齢者介護等）、両立支援（子育て、介護等）、ワーク・ライフ・バランス、共生社会等に関わる政策テーマに取り組んでいる。「実務経験のある教員等による授業科目」対象
			仕事・結婚・わたし	2	高井彩名	近年、アイデンティティは関係性の中で構築されると言われている。特に女性はライフサイクルを考えるとときに結婚、出産、介護など他者との関わりを避けて通れない。授業では、自分、家族、社会というシステムについて説明する。自分自身を捉える視点を持ち、家族ライフサイクルについて考えることによって、今後の人生で生じる様々なことに対処できる力を養う。授業担当者は、臨床心理士・公認心理師として、大学の学生相談を中心に活動。その他、精神科クリニックや、スクールカウンセラーなどとしても実務経験あり。最近の研究テーマは「好きなものを語ることの心理的作用について」などである。「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目
					北島歩美	近年、アイデンティティは関係性の中で構築されると言われている。特に女性はライフサイクルを考えるとときに結婚、出産、介護など他者との関わりを避けて通れない。授業では、自分、家族、社会というシステムについて説明する。自分自身を捉える視点を持ち、家族ライフサイクルについて考えることによって、今後の人生で生じる様々なことに対処できる力を養う。授業担当者は、臨床心理士・公認心理師・家族心理士として、大学の学生相談を中心として25年ほど活動。その他、産業カウンセリング、私設のカウンセリングルームでも実務経験あり。専門はアタッチメント理論と家族療法である。「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目
			女性と身体	2	鈴木幸子	女性が生き生きと自分の人生を歩むためには、自分のからだの主人公としてからだの付き合い方を学び、コントロールしていくことが求められます。産む/産まないに限らず、人生における多様な選択が可能になった現在、健康な心身と生活の基盤を持っていることは強みになります。この科目ではライフステージごとの健康課題とそのケアについて学び、とくに性と生殖に関する健康と権利について自分事として考え、選択できる力を養います。助産師として出産や女性の生涯を通じた健康支援に携わってきた教員が解説、問題提起を行います。「実務経験のある教員等による授業科目」
					小笹由香／辻美千子／新田真弓	女性の体や心は、人生の中で様々な変化をすることがあります。それらを受けとめ、受け入れ、女性として生きていくことがとても大切です。この授業では、医療者である助産師・看護師・歯科医師、認定遺伝カウンセラーを中心に、患者や家族の立場にも言及しながら多様な立場から、思春期・妊娠・出産・更年期・高齢期の女性の一生を通じて起こる心身面での課題とそのケアについて解説します。特に、現代若年女性の問題や女性特有の疾患、妊娠や出産、そして出生前診断などの生命倫理に関わる問題など、女性として生きていく人生に役立つことを取り上げます。「実務経験のある教員等による授業科目」
			ライフステージと法	2	柳原由以／大沼宗範	人が生きていくうえで一生の間に出会うであろう法律問題（就職・結婚・出産・離婚・相続・消費者問題等）の基礎知識を身に付けることを目的とする。いくつかの具体的な事例の紹介や、その対応先の議論や解説を行う。「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目
			社会に出るための自己表現	2	尾方僚	*社会に出るための自己表現3,4(前期) 7,8(後期) は同内容です。【目的】社会生活を送る上で必要不可欠であるコミュニケーションスキル。コミュニケーションからプレゼンテーションという流れで実社会に出るために必要な「表現する方法」を「バーバルコミュニケーション」（言語コミュニケーション）、「ノンバーバルコミュニケーション」（非言語コミュニケーション）、アクティビティなどに向け実習を通じ自己表現を学ぶ。また実習ではディスカッションやグループワークも。これらを通じ社会に必要なチームワーク、タイムマネジメントなども理解することができる。企業、業界の仕組みも実習を通して理解することができる。＜社会＞に出るためのとタイトルがついている通り、＜社会＞の1員であることを認識し、卒業後関わる社会がどんなものかを理解する。クラスの仲間たちとワークショップ「情報共有」をし理解を深めることができる。クラスのメンバーとワークショップやディスカッションを通して経済、社会の知識を深めることができる。ワークショップの中で常にミクロ、マクロの視点でみることをテーマとし、実践的視野を広げ、成長することができる。【内容】企業研修（面接官トレーニング）などで使用しているものを元にした実習がメインの授業。自己を表現する（PRする）ためにはどんなことが必要か、また自身に対して相手がどんな印象をもつかなどを実際に体験する中で「気づき」や「発見」を促す。「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目
					砂子一雄	40年近くの広告代理店勤務と現在も広告関係の会社を経営しているコミュニケーションのプロとして、実践的な「伝え方」を一定の方法論や各種メソッドを使いながら紹介。なるべく具体的事例と演習を交えた講義で、少しでも受講者のコミュニケーション能力向上に寄与していきたい。また就職活動や実社会で直面するであろう自己プレゼンテーションなどに役立つ現場情報や効果的アピール方法も随時紹介し、キャリア形成に役立つ授業を目指す。当授業は前期・後期あるが、授業内容は同じである。「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目
					吉良俊彦	社会に出るとは、どういうことなのだろう。それは学生ではないということだ。では、「学生と社会人の違い」って何なのだろう。これを知り、学び、考えられるようになれば、社会への入口は開く。つまり、就職試験という難関を突破することができる。ただ、未来は就職が決まるわけではなく、やりたい事の途中で就職はある。まず自分自身をしっかり分析することが大切だ。「学生と社会人の違い」って何だろう。この授業においては、この大きな命題について考察してゆく。学校は「同じ常識、限りなく類似している常識を持つ人が友人関係を作り、そこでコミュニケーションしていく場」だ。だから、常識が変われば仲間が変わっていく。一方、社会は「異なる常識を持つ人々が、互いにコミュニケーションをしていく場、まさに異文化交流の場」だ。だから自分のスキルを最大限発揮して周りとコミュニケーションしていかなければならない。この授業では、様々な学科に所属する学生たちとの交流（これも異文化交流）を通じ、社会に出るために知っておいたほうが良い知識（メディア、SDGs、Society 5.0）、社会に出るために身につけておいたほうが良いスキル（コミュニケーション力、右脳力（創造力&発想力））を楽しく、わかりやすく解説していく。また、実際の社会を知るために、ファッション業界、化粧品業界、環境クリエイティブ業界の中から2回の産学協同講義を予定している。「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目
			現代ビジネスと起業	2	奥山睦	・日本経済の現状と労働環境について考える。・世界的な働き方の潮流を見つめながら、女性のキャリア形成について考える。・withコロナ、afterコロナの社会経済について理解を深める。「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目
			インターンシップI	1	澤田美砂子／大場昌子／関本弘之／周燕飛	就業体験を通して、その仕事に就く能力が自らに備わっているかどうか（自らがその仕事で通用するかどうか）を見極め、自己の適性や可能性を探るきっかけとなるようなインターンシップに参加する。「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目
			インターンシップII	2	澤田美砂子／大場昌子／関本弘之／周燕飛	就業体験を通して、その仕事に就く能力が自らに備わっているかどうか（自らがその仕事で通用するかどうか）を見極め、自己の適性や可能性を探るきっかけとなるようなインターンシップに参加する。「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目

実務家教員授業科目一覧（2021年度入学者より適用（新課程））

キャンパス	学部	区分	科目名	単位数	担当名	授業概要
目白	家政学部 文学部 理学部 人間社会学部 国際文化学部	J W U 社会 連携 科目	社会課題とNPO・NGO	2	土屋真美子	社会には多様な課題があるが、それらは社会の弱いところに現れると言われる。コロナという災害下でも、シングルマザー、非正規雇用者などにそのしわ寄せはすぐ現れた。また、日本が世界的に後れをとっているジェンダーやLGBTQ等の課題は、折に触れ社会課題として噴出する。社会課題に最初気づくのは地域の市民であり、解決に向けてスピード感をもって柔軟に取り組むことができるのは、NPOやNGOである。NPOは、課題に気づいた市民が集まり、解決に向けて取り組むための仕組みである。市民の思いを形にし、力にする。NPO法ができて20年を超え、NPOという名称も一定の市民権を得ている。その一方で、実態についてはさほど知られていない。また、環境問題や人権についての考え方が変化し、社会課題解決の担い手はNPOだけでなく、マルチセクターの役割になりつつある。そこで、この授業では、NPOについての基礎知識を共有するとともに、NPOは何のために、何を指して活動しているのかを学ぶ。SDGsなどの進展で、企業の役割も大きくなってきているので、どう多様なセクターと連携して社会課題を解決しようとしているのかも共有したい。具体的な活動については、できるだけ現場感をもって、社会課題の解決の仕方を伝えるために、NPOのスタッフをゲストとしてお招きし、議論する場を設ける。NPOやNGOはどうやって社会課題に気づき、自ら動き、共感する人を増やし、活動を展開させていくかを学ぶ。NPOやNGOについての知識を得ることが目的ではなく、自分自身で課題に気づき、考え、課題を解決するためには何をすればいいのか、行動するきっかけを掴んでもらえればと思っています。「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目
			企業と社会連携	2	田村太郎／額田春華／井上洋	経済のグローバル化や気候変動の進展に伴い、これまでのアプローチでは持続可能な社会の維持が困難な状況が生じている。これまでは行政や非営利組織の役割とされてきた「社会課題の解決」において、企業に期待される役割が大きく変化している。この授業ではこうした社会の変化を俯瞰しながら、変化する社会課題や解決手法、担い手のあり方について基礎的な知識を身につけるとともに、企業に求められる役割やビジネスによる社会課題の解決に焦点を当て、具体的な解決手法の考え方を学ぶ。担当する教員3名はそれぞれが大企業・中小企業・ソーシャルアントレプレナーによる課題解決に深く携わっており、理論だけでなく実践に必要な視点と行動力が持てるよう、グループ演習なども取り入れながら授業を進めていく。「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目
			社会連携を学ぶB	2	田井中慎	企業や自治体等では、組織内や業務上の諸課題の見直し、新規事業の提案などの場面で、組織外にコンサルティングを依頼することが多く見られるが、大学のような当該業務や営利と無関係な異なる組織と連携し、組織の課題解決を目指すという試みが多く行われている。これを一般的に、大学における「社会連携事業」「社会連携活動」と呼ぶが、本授業では、地域活性化・SDGs（持続可能な開発目標）をキーワードとし、社会連携活動やその基礎的知識についての理解、課題発見、課題解決の手法や具体例を通し、現在の社会連携のあり方を考えていく。「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目
			地域・社会課題を学ぶ	2	中西裕二	20世紀後半から日本では、地方社会を中心に少子化、高齢化が急速に進み始め、また円高に伴う産業の空洞化が地方社会に打撃を与え、地方社会は存続が危ぶまれるほどの状況に陥っている。そのような中、大学生が日本の現状を学び、かつ地域の再生の一助になるべく、大学と地方自治体、企業間の官学・産学・産官学連携がここ10年ほど急速に進み始めている。本授業では、本学が2021年度に連携協定を締結した北海道日高振興局、及び振興局内の平取町、日高町、新冠町、新ひだか町、浦河町、様似町、えりも町の地域課題を取り上げ、ワークショップ形式の授業でその課題解決の方策を探ることを目的とする。「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目
			課題解決型ワークショップを用いた企画開発	2	中西裕二／山下雅洋	本授業は、株式会社読売広告社の寄附講座として行われるものである。読売広告は多様なビジネス領域において、ワークショップスタイルを活用したインベションで成果を上げている広告代理店である。その場で実際に実践されているワークショップの手法を学びつつ、実際に企業の要望を想定したり、または実際の企業とコラボしながら、ワークショップを活用した企業の課題解決の具体案の作成もおこない、受講者の課題解決能力の向上を目指す。本年度は9月4日(月)～7日(木)の予定で集中講義の形式で行われ、参加企業は未定である。参加企業が決まり次第、manabaの方に連絡を入れる。「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目
			社会におけるICT、データサイエンス活用A	2	湯浅且敏	企業の協力の元、実社会での問題発見、問題解決の活動を模擬的に体験する活動等を通して、現在、広く教養として求められる数理・データサイエンス・AIに関わる実践力を高める授業です。また、協力企業様から、社会に出てから必要となる個人情報の扱いや情報セキュリティについて注意すべきポイントなどを教示していただきます。この講義では、実社会の課題に対して、現状を分析し、解決案を提案する活動を通して、実際の問題解決に活用できる、情報収集力、分析力、問題解決力の獲得を目的とします。このため、文献やインターネット上のデータの収集や分析といった活動を、個人やグループワークで行う演習を中心とした授業となります。協力予定企業：NTTアドバンステクノロジー株式会社、株式会社ラック 「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目
			地域・企業と未来を創るクリエイティブ・プロジェクト 演習A	2	平田京子	この授業は、プロジェクト型の学習を通じて社会連携活動の基礎を学び、実際の社会的課題の解決を図ることを目的としている。全学の学生とともに考えるこの実習授業で、「困っている人に寄り添い、手を差し伸べる」、「それには、どんな風に手を差し伸べるのがベストなのか」という基礎スキルをつけた後に、社会連携活動の実践につなげよう。プロジェクトテーマ：日本女子大学で赤ちゃんとお母さんを守るための避難所をみんなでつくろう。度重なる自然災害を克服するために、地域のために新たなアイデアを出して、みんなのために動き出す人が求められている。あなたのアイデアを地域課題解決のために活かしていこう。0歳の赤ちゃんとお母さんを守るため、日本女子大学に設置される文京区の避難所について、大学と学生が協働して運営に当たることが必要だが、運営準備はまだ不十分である。運営アイデアをプロジェクト型で思考し、グループで対話しながら実現方法を検討、討議結果を発表する。避難者の生活を再建し、復興へと踏み出すための一歩目が避難所であり、避難者の助け合う場になることが求められている。あなたの学びを、赤ちゃんとお母さんを守ることにつなげていくのが目標である。アフリカのルワンダ・ブルンジで障害をもつ人（義肢など）を支援するNPOとして活躍するゲストによる特別講義（日本語）を予定している。「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目
			地域・企業と未来を創るクリエイティブ・プロジェクト 演習B	2	中西裕二／田井中慎	本科目では、地域・企業の具体的な課題をテーマとし、その課題解決をPBL型の授業（Project Based Learning）、フィールドワーク、ワークショップスタイルの授業で実施するものである。今回は岩手県において、地域食品産業連携プロジェクト（LFP）推進事業（農林水産省による補助事業）の一環で行われる「ワインツーリズム」の企画開発、盛岡市における観光活性化事業で取り組む問題について、現地でのフィールドワーク、ディスカッションを通し新たな観光プランを作成することを目的とする。「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目
			地域・企業と未来を創るクリエイティブ・プロジェクト 演習C	2	小倉拓郎	横浜市の南端にある「田谷の洞窟」とその周辺地域を分析し、これまで気づかれていなかった地域の魅力や特徴を見出し、お伝えするプロジェクトに取り組む。田谷町では横浜市登録史跡に指定されている手掘りの洞窟「田谷の洞窟」があり、周辺は大都市郊外の住宅地として開発が進められてきた。本授業では、自ら地理情報を取得し、地域が抱えている複合的な問題を可視化し、分析する。そのために、高等学校の地理でも学習するようになり、注目されている地理情報システム（GIS: Geographic Information System）を実際に使用し、基本的な原理を学びながら、課題に取り組む。本授業では、フィールドワークとGISを利用した地域調査実習を実施する。また、本授業は、田谷の洞窟実行委員会等の地域住民の方と連携しながら実施する。「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目
			基礎科目 情報処理	ICT活用I	2	久保進次
教養科目	人体の構造と機能及び疾病	2	福本正勝	医学一般の基礎知識を身につけ、医療や福祉の基本的な考え方を理解することを目標にその基盤となる人体の構造や機能についての解説を行う。さらに疾病や障害の内容について、福祉および心理の分野において必要とされることを中心に概略的な解説を行う。この授業では社会福祉士、精神保健福祉士、公認心理師の国家試験範囲を包含した医学知識について主に講義を行うが、医療・健康・食品・運動関係などに興味のある方にも参考になるとと思われる。「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目		
合計単位数	新課程 (2021年度入学者より)		家政学部 文学部 理学部 人間社会学部 国際文化学部	39		

実務家教員授業科目一覧（2020年度入学者まで適用（旧課程））

キャンパス	学部	区分	科目名	単位数	担当者名	授業概要
目白	家政学部 文学部 理学部 人間社会学部	教養特別講義	教養特別講義 2	1	学長 篠原聡子	教養特別講義 2 は、学問における真理の探求と人間形成とを不可分とする、創立者成瀬仁蔵の教育理念のもとに設けられた「実践倫理」を原点とする必修科目である。「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目 学内外のあらゆる分野で活躍する講師社会のあらゆる分野の第一線で活躍する様々な講師（民間企業、NPO法人理事等）を招いて講演を聞き、質問を通してその講演者との意見交換を行う。現代を生きる女性のキャリアを十分に伸ばすことに重点を置いたテーマを設け、そのテーマに沿った講演が行われる。また、本学が果たしてきた歴史的役割を知るため、3 年次は各自で成瀬記念館の見学を行う。 (詳細は履修の手引き「教養特別講義 2」のページおよびmanabaやJASMINE-Naviの掲示を参照)
			ライフプランとキャリアデザイン	2	高橋美紀	ライフプランやキャリアデザインを設計するためには、社会環境や企業に関する理解が欠かせない。社会や企業において女性がどのような状況に置かれているか、大学時代からその現状や背景を理解することが重要である。授業では、女性のライフプランやキャリアデザインに関連させながら、経済社会や企業組織の仕組み、現状や課題について、ゲストスピーカーとして外部から招く専門家及び卒業生の講話や、授業担当者自身の経験（一般企業勤務や、中小企業診断士・社会保険労務士としての企業支援経験）も交えながら解説する。「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目
		J W U カ リ ア 科 目	女性と職業	2	鈴木陽子	本授業は、現代女性の職業の実態をさまざまな具体例を通して学び、働く意欲と勇気を得ることを目標とする。各界で多彩に活躍している各学科の先輩をゲストスピーカーとして招聘し、さまざまな分野での仕事のあり方を実際に見聞する機会を通じて、職業選択やキャリアについて自ら考えるための指針を提供する。授業の最終回に、授業全体の振り返りと講評を行う。なお、授業担当者は、民間シンクタンクにて、主に官公庁や自治体等の受託調査に携わっている。少子高齢化施策（子育て支援、高齢者介護等）、両立支援（子育て、介護等）、ワーク・ライフ・バランス、共生社会等に関わる政策テーマに取り組んでいる。「実務経験のある教員等による授業科目」対象
			仕事・結婚・わたし	2	高井彩名	近年、アイデンティティは関係性の中で構築されると言われている。特に女性はライフサイクルを考えると結婚、出産、介護など他者との関わりを避けて通れない。授業では、自分、家族、社会というシステムについて説明する。自分自身を捉える視点を持ち、家族ライフサイクルについて考えることによって、今後の人生で生じる様々なことに対処できる力を養う。授業担当者は、臨床心理士・公認心理師として、大学の学生相談を中心に活動。その他、精神科クリニックや、スクールカウンセラーなどとしても実務経験あり。最近の研究テーマは「好きなものを語ることの心理的作用について」などである。「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目
					北島歩美	近年、アイデンティティは関係性の中で構築されると言われている。特に女性はライフサイクルを考えると結婚、出産、介護など他者との関わりを避けて通れない。授業では、自分、家族、社会というシステムについて説明する。自分自身を捉える視点を持ち、家族ライフサイクルについて考えることによって、今後の人生で生じる様々なことに対処できる力を養う。授業担当者は、臨床心理士・公認心理師・家族心理士として、大学の学生相談を中心として25年ほど活動。その他、産業カウンセリング、私設のカウンセリングルームでも実務経験あり。専門はアタッチメント理論と家族療法である。「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目
			女性と身体	2	鈴木幸子	女性が生き生きと自分の人生を歩むためには、自分のからだの主人公としてからだの付き合い方を学び、コントロールしていくことが求められます。産む/産まないに限らず、人生における多様な選択が可能になった現在、健康な心身と生活の基盤を持っていることは強みになります。この科目ではライフステージごとの健康課題とそのケアについて学び、とくに性と生殖に関する健康と権利について自分事として考え、選択できる力を養います。助産師として出産や女性の生涯を通じた健康支援に携わってきた教員が解説、問題提起を行います。「実務経験のある教員等による授業科目」
					小笹由香/辻美千子/新田真弓	女性の体や心は、人生の中で様々な変化をすることがあります。それらを受けとめ、受け入れ、女性として生きていくことがとても大切です。この授業では、医療者である助産師・看護師・歯科医師、認定遺伝カウンセラーを中心に、患者や家族の立場にも言及しながら多様な立場から、思春期・妊娠・出産・更年期・高齢期の女性の一生を通じて起こる心身面での課題とそのケアについて解説します。特に、現代若年女性の問題や女性特有の疾患、妊娠や出産、そして出生前診断などの生命倫理に関わる問題など、女性として生きていく人生に役立つことを取り上げます。「実務経験のある教員等による授業科目」
			ライフステージと法	2	柳原由以/大沼宗範	人が生きていくうえで一生の間に出会うであろう法律問題（就職・結婚・出産・離婚・相続・消費者問題等）の基礎知識を身に付けることを目的とする。いくつかの具体的な事例の紹介や、その対応先の議論や解説を行う。「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目
			社会に出るための自己表現	2	尾方僚	* 社会に出るための自己表現3,4(前期) 7,8(後期) は同内容です。【目的】社会生活を送る上で必要不可欠であるコミュニケーションスキル。コミュニケーションからプレゼンテーションという流れで実社会に出るために必要な「表現する方法」を「バーバルコミュニケーション」(言語コミュニケーション)、【ノンバーバルコミュニケーション】(非言語コミュニケーション)、アクティブリスニングなどにわけ実習を通して自己表現を学ぶ。また実習ではディスカッションやグループワークも。これらを通し社会で必要なチームワーク、タイムマネジメントなども理解することができる。企業、業界の仕組みも実習を通して理解することができる。＜社会＞に出るためのとタイトルがついている通り、＜社会＞の1員であることを認識し、卒業後関わる社会がどんなものかを理解する。クラスの仲間たちとワークショップ「情報共有」をし理解を深めることができる。クラスのメンバーとワークショップやディスカッションを通して経済、社会の知識を深めることができる。ワークショップの中で常にミクロ、マクロの視点でみることをテーマとし、実践的視野を広げ、成長することができる。【内容】企業研修(面接官トレーニング)などで使用しているものを元にした実習がメインの授業。自己を表現する(PRする)ためにはどんなことが必要か、また自身に対して相手がどんな印象をもつかなどを実際に体験する中で「気づき」や「発見」を促す。「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目
					砂子一雄	40年近くの広告代理店勤務と現在も広告関係の会社を経営しているコミュニケーションのプロとして、実践的な「伝え方」を一定の方法論や各種メソッドを使いながら紹介。なるべく具体的事例と演習を交えた講義で、少しでも受講者のコミュニケーション能力向上に寄与していきたい。また就職活動や実社会で直面するであろう自己プレゼンテーションなどに役立つ現場情報や効果的アピール方法も随時紹介し、キャリア形成に役立つ授業を目指す。当授業は前期・後期あるが、授業内容は同じである。「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目
					吉良俊彦	社会に出るとは、どういうことなのだろう。それは学生ではないということだ。では、“学生と社会人の違い”って何なのだろう。これを知り、学び、考えられるようになれば、社会への入口は開く。つまり、就職試験という難関を突破することができる。ただ、未来は就職が決まるわけではなく、やりたい事の途中で就職はある。まず自分自身をしっかり分析することが大切だ。“学生と社会人の違い”って何だろう。この授業においては、この大きな命題について考察してゆく。学校は“同じ常識、限りなく類似している常識を持つ人が友人関係を作り、そこでコミュニケーションしていく場”だ。だから、常識が変われば仲間が変わっていく。一方、社会は“異なる常識を持つ人々が、互いにコミュニケーションをしていく場、まさに異文化交流の場”だ。だから自分のスキルを最大限発揮して周りとコミュニケーションしていかねばならない。この授業では、様々な学科に所属する学生たちとの交流(これも異文化交流)を通じ、社会に出るために知っておいたほうが良い知識(メディア、SDGs、Society 5.0)、社会に出るために身につけておいたほうが良いスキル(コミュニケーション力、右脳力(創造力&発想力))を楽しく、わかりやすく解説していく。また、実際の社会を知るために、ファッション業界、化粧品業界、環境クリエイティブ業界の中から2回の産学協同講義を予定している。「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目
			現代ビジネスと起業	2	奥山睦	・日本経済の現状と労働環境について考える。 ・世界的な働き方の潮流を見つめながら、女性のキャリア形成について考える。 ・withコロナ、afterコロナの社会経済について理解を深める。「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目
			インターンシップI	1	澤田美砂子/大場昌子/関本弘之/周燕飛	就業体験を通して、その仕事に就く能力が自らに備わっているかどうか(自らがその仕事で通用するかどうか)を見極め、自己の適性や可能性を探るきっかけとなるようなインターンシップに参加する。「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目
			インターンシップII	2	澤田美砂子/大場昌子/関本弘之/周燕飛	就業体験を通して、その仕事に就く能力が自らに備わっているかどうか(自らがその仕事で通用するかどうか)を見極め、自己の適性や可能性を探るきっかけとなるようなインターンシップに参加する。「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目

実務家教員授業科目一覧（2020年度入学者まで適用（旧課程））

キャンパス	学部	区分	科目名	単位数	担当者名	授業概要
目白	家政学部 文学部 理学部 人間社会学部	J W U 社会 連携 科目	社会課題とNPO・NGO	2	土屋真美子	社会には多様な課題があるが、それらは社会の弱いところに現れると言われる。コロナという災害下でも、シングルマザー、非正規雇用者などにそのしわ寄せはすぐ現れた。また、日本が世界的に後れをとっているジェンダーやLGBTQ等の課題は、折に触れ社会課題として噴出する。社会課題に最初に気づくのは地域の市民であり、解決に向けてスピード感をもって柔軟に取り組むことができるのは、NPOやNGOである。NPOは、課題に気づいた市民が集まり、解決に向けて取り組むための仕組みである。市民の思いを形にし、力にする。NPO法ができて20年を超え、NPOという名称も一定の市民権を得ている。その一方で、実態についてはさほど知られていない。また、環境問題や人権についての考え方が変化し、社会課題解決の担い手はNPOだけでなく、マルチセクターの役割になりつつある。そこで、この授業では、NPOについての基礎知識を共有するとともに、NPOは何のために、何を指して活動しているのかを学ぶ。SDGsなどの進展で、企業の役割も大きくなってきているので、どう多様なセクターと連携して社会課題を解決しようとしているのかも共有したい。具体的な活動については、できるだけ現場感をもって、社会課題の解決の仕方を伝えるために、NPOのスタッフをゲストとしてお招きし、議論する場を設ける。NPOやNGOはどうやって社会課題に気づき、自ら動き、共感する人を増やし、活動を展開させていくかを学ぶ。NPOやNGOについての知識を得ることが目的ではなく、自分自身で課題に気づき、考え、課題を解決するためには何をすればいいのか、行動するきっかけを掴んでもらえればと思っています。「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目
			企業と社会連携	2	田村太郎／額田春華／井上洋	経済のグローバル化や気候変動の進展に伴い、これまでのアプローチでは持続可能な社会の維持が困難な状況が生じている。これまでは行政や非営利組織の役割とされてきた「社会課題の解決」において、企業に期待される役割が大きく変化している。この授業ではこうした社会の変化を俯瞰しながら、変化する社会課題や解決手法、担い手のあり方について基礎的な知識を身につけるとともに、企業に求められる役割やビジネスによる社会課題の解決に焦点を当て、具体的な解決手法の考え方を学ぶ。担当する教員3名はそれぞれが大企業・中小企業・ソーシャルアントレプレナーによる課題解決に深く携わっており、理論だけでなく実践に必要な視点と行動力が持てるよう、グループ演習なども取り入れながら授業を進行していく。「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目
			社会連携を学ぶB	2	田井中慎	企業や自治体等では、組織内や業務上の諸課題の見直し、新規事業の提案などの場面で、組織外にコンサルティングを依頼することが多く見られるが、大学のような当該業務や営利と無関係な異なる組織と連携し、組織の課題解決を目指すという試みが多く行われている。これを一般的に、大学における「社会連携事業」「社会連携活動」と呼ぶが、本授業では、地域活性化・SDGs（持続可能な開発目標）をキーワードとし、社会連携活動やその基礎的知識についての理解、課題発見、課題解決の手法や具体例を通じ、現在の社会連携のあり方を考えていく。「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目
			地域・社会課題を学ぶ	2	中西裕二	20世紀後半から日本では、地方社会を中心に少子化、高齢化が急速に進み始め、また円高に伴う産業の空洞化が地方社会に打撃を与え、地方社会は存続が危ぶまれるほどの状況に陥っている。そのような中、大学生が日本の現状を学び、かつ地域の再生の一助になるべく、大学と地方自治体、企業間の官学・産学・産官学連携がここ10年ほど急速に進み始めている。本授業では、本学が2021年度に連携協定を締結した北海道日高振興局、及び振興局内の平取町、日高町、新冠町、新ひだか町、浦河町、様似町、えりも町の地域課題を取り上げ、ワークショップ形式の授業でその課題解決の方策を探ることを目的とする。「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目
			課題解決型ワークショップを用いた企画開発	2	中西裕二／山下雅洋	本授業は、株式会社読売広告社の寄附講座として行われるものである。読売広告は多様なビジネス領域において、ワークショップスタイルを活用したイノベーションで成果を上げている広告代理店である。その場で実際に実践されているワークショップの手法を学びつつ、実際に企業の要望を想定したり、または実際の企業とコラボしながら、ワークショップ活用した企業の課題解決の具体案の作成もおこない、受講者の課題解決能力の向上を目指す。本年度は9月4日(月)～7日(木)の予定で集中講義の形式で行われ、参加企業は未定である。参加企業が決まり次第、manabaの方に連絡を入れる。「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目
			社会におけるICT、データサイエンス活用A	2	湯浅且敏	企業の協力の元、実社会での問題発見、問題解決の活動を模擬的に体験する活動等を通して、現在、広く教養として求められる数理・データサイエンス・AIに関わる実践力を高める授業です。また、協力企業様から、社会に出てから必要となる個人情報扱いや情報セキュリティについて注意すべきポイントなどを教示していただきます。この講義では、実社会の課題に対して、現状を分析し、解決案を提案する活動を通して、実際の問題解決に活用できる、情報収集力、分析力、問題解決力の獲得を目的とします。このため、文献やインターネット上のデータの収集や分析といった活動を、個人やグループワークで行う演習を中心とした授業となります。協力予定企業：NTTアドバンステクノロジ株式会社、株式会社ラック 「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目
			地域・企業と未来を創るクリエイティブ・プロジェクト 演習A	2	平田京子	この授業は、プロジェクト型の学習を通じて社会連携活動の基礎を学び、実際の社会的課題の解決を図ることを目的としている。全学の学生とともに考えるこの実習授業で、「困っている人に寄り添い、手を差し伸べる」、「それには、どんな風に手を差し伸べるのがベストなのか」という基礎スキルをつけた後に、社会連携活動の実践につなげよう。プロジェクトテーマ：日本女子大学で赤ちゃんとお母さんを守るための避難所をみんなでつくろう。度重なる自然災害を克服するために、地域のために新たなアイデアを出して、みんなのために動き出す人が求められている。あなたのアイデアを地域課題解決のために活かしていこう。0歳の赤ちゃんとお母さんを守るため、日本女子大学に設置される文京区の避難所について、大学と学生が協働して運営に当たる必要があるが、運営準備はまだまだ不十分である。運営アイデアをプロジェクト型で思考し、グループで対話しながら実現方法を検討、討議結果を発表する。避難者の生活を再建し、復興へと踏み出すための一歩目が避難所であり、避難者の助け合う場になることが求められている。あなたの学びを、赤ちゃんとお母さんを守ることに活かしていくのが目標である。アフリカのルワンダ・ブルンジで障害をもつ人（義肢など）を支援するNPOとして活躍するゲストによる特別講義（日本語）を予定している。「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目
			地域・企業と未来を創るクリエイティブ・プロジェクト 演習B	2	中西裕二／田井中慎	本科目では、地域・企業の具体的な課題をテーマとし、その課題解決をPBL型の授業（Project Based Learning）、フィールドワーク、ワークショップスタイルの授業で実施するものである。今回は岩手県において、地域食品産業連携プロジェクト（LFP）推進事業（農林水産省による補助事業）の一環で行われる「フイんツリズム」の企画開発、盛岡市における観光活性化事業で取り組む問題について、現地でのフィールドワーク、ディスカッションを通じ新たな観光プランを作成することを目的とする。「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目
			地域・企業と未来を創るクリエイティブ・プロジェクト 演習C	2	小倉拓郎	横浜市の南端にある「田谷の洞窟」とその周辺地域を分析し、これまで気づかれていなかった地域の魅力や特徴を見出し、お伝えするプロジェクトに取り組む。田谷町では横浜市登録史跡に指定されている手掘りの洞窟「田谷の洞窟」があり、周辺は大都市郊外の住宅地として開発が進められてきた。本授業では、自ら地理情報を取得し、地域が抱えている複合的な問題を可視化し、分析する。そのために、高等学校の地理でも学習するようになり、注目されている地理情報システム（GIS: Geographic Information System）を実際に使用し、基本的な原理を学びながら、課題に取り組む。本授業では、フィールドワークとGISを利用した地域調査実習を実施する。また、本授業は、田谷の洞窟実行委員会等の地域住民の方と連携しながら実施する。「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目
			ICT活用I	2	久保進次	Webデザインの基礎 現在インターネットはデスクトップコンピュータ、タブレット、携帯電話端末等を通じ、様々な情報の伝達に使われ日常生活に根ざしている。情報を受け取る形でインターネットを利用するだけでなく、情報を発信する事も重要である。本授業は、インターネットの情報発信技術を学び、またwebページの企画・デザイン・制作を通じ、公開可能なwebページを作成し、インターネットで価値のある情報発信を経験する事を目的とする。（希望により、グループでも個人でも、制作可能。）※授業で製作した作品は、基本的にはwebで公開します。学校や学部のプロモーションに使用されることもありますので、その点についてあらかじめご了承ください。「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目
		基礎科目 情報処 理 （家 政 ・社 会 ・学 部 ）	人体の構造と機能及び疾病	2	福本正勝	医学一般の基礎知識を身につけ、医療や福祉の基本的な考え方を理解することを目標にその基盤となる人体の構造や機能についての解説を行う。さらに疾病や障害の内容について、福祉および心理の分野において必要とされることを中心に概略的な解説を行う。この授業では社会福祉士、精神保健福祉士、公認心理師の国家試験範囲を包含した医学知識について主に講義を行うが、医療・健康・食品・運動関係などに興味のある方にも参考になるとと思われる。「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目
合計 単位数	旧課程 (2020年度入学者まで)	家政学部 文学部 理学部 人間社会学部		40		